

イノベーション戦略

全員参加型イノベーションの推進 (IMS本格運用開始)

「昨日よりも今日、今日よりも明日」と、常に新しいことにチャレンジし、OKIの未来をつくっていく、という経営層の強い思いのもと、それまで散発的な活動であったイノベーションをシステマティックに起こせる会社を目指して、2017年度にイノベーション・マネジメントシステム (IMS) 「Yume Pro」の構築を開始しました。2020年度にはOKIの特徴である「全員参加型イノベーション」を宣言し、全社員がイノベーションに関与する意識を醸成することで、全社にカルチャー改革を拡大してきました。

そして、2023年度から全社で「IMS本格運用」を開始し、全34部門に「部門イノベーション責任者/推進者」を配置して推進体制を強化しました。定例の推進者連絡会を通じて活発な意見交換を行い、IMSの本格運用を牽引しています。OKIの「全員参加型イノベーション」は、①新規事業創出や②既存事業改革だけでなく、③業務改善もイノベーションと定義しているのが特徴です。その浸透度を図る目安である社内アイデアコンテスト「Yume Proチャレンジ」は、2018年度に開始して以降、カルチャー改革の推進とともに毎年応募件数が増え、2023年度からは応募対象を「業務改善」アイデアへも拡大して、386件の応募となりました。これらの取り組みを経てカルチャー改革が着実に進んでいることが実感できるものの、それを事業化まで進めるために「泳ぎ切れるスイマー」を増やすための施策が「ハイポテンシャル・イノベーション人材育成」です。起業のプロによる支援も受けながら「加速支援コミュニティ」を本格運用することで事業化への実践力を強化するとともに、イノベーション活動経験の浅いコンテスト応募者は個々に伴走されながら、応募者のスキルアップとテーマの質向上を通じて全体のレベルアップにつなげています。

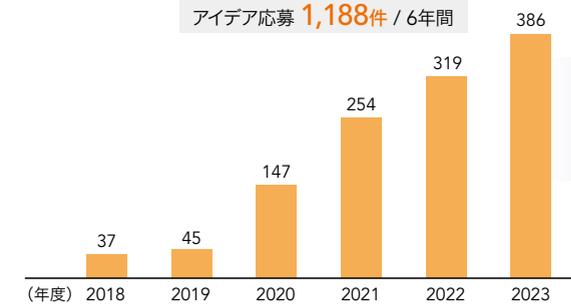
また、イノベーション中核人材ネットワークを構築するための「Yumeハブ」では、2023年度に第5期生が活動を開始しました。Yume Proの仕組みを学びながら社内課題解決やイノベーション創出に向けて行動し、延べ180名が社内のイノベーション活動の中核を支えています。これらの活動は「Yume Proフォーラム」で全社発信するとともに、経営層へも報告して支援を受けながら実践に取り組んでいます。

さらに、Yume Proの仕組みをお客様とともに実践する「共創ワークショップ」も推進しています。両社から若手や中堅社員数名が集まり、チームを組んでテーマを設定し、デザイン思考やYume Proのプロセスに沿って、現場課題発見や仮説検証を繰り返します。最後には両社の経営層まで報告し、評価の高いものは実現に向けて検討を継続します。2019年以来延べ17社との共創ワークショップを実施し、「自社だけでは思いつかないようなアイデアが創出できる」とお客様の経営層からも高い評価を得ています。

これらの活動を通じ、2023年11月には、2031年のあるべき姿からバックキャストして策定したイノベーション戦略2025を発表しました。これからも、イノベーション活動がOKIの将来事業創出のコアとなるよう、経営層を巻き込んだ仕組み改善を継続し、進化していきます。

Yume Pro チャレンジ

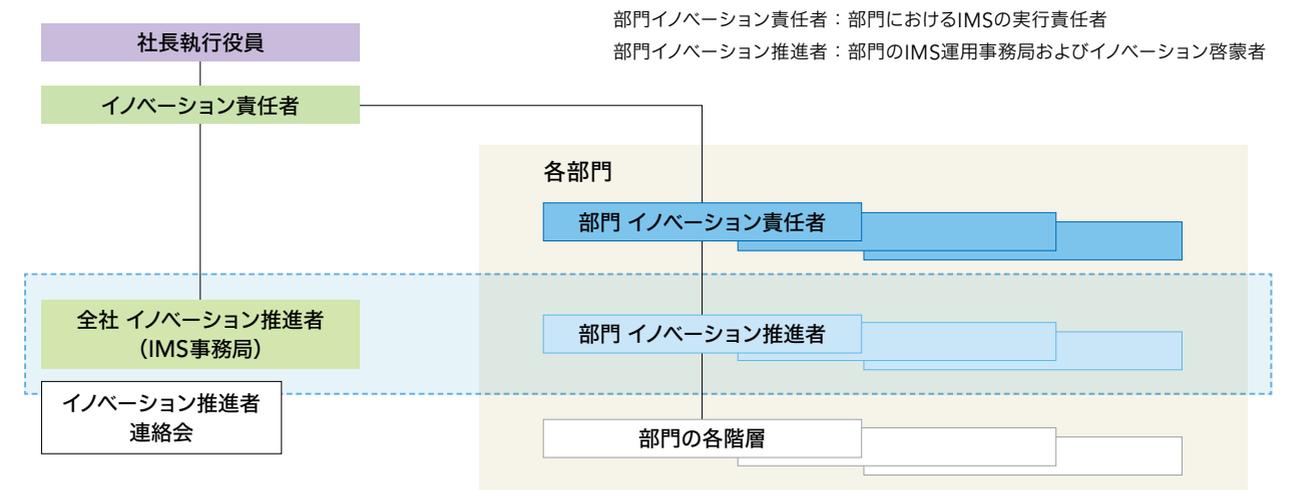
アイデア実践コンテスト (件)



新たな
事業領域を創出



イノベーション推進体制



詳細はWebサイトをご参照ください。 OKIのイノベーションとは https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/innovation.html

CINO ism https://www.oki.com/jp/yume_pro/cino/

注力分野の活動事例

物流 https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/logistics.html

ヘルスケア・医療 https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/healthcare.html

高度遠隔運用 https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/ai.html

CFB https://www.oki.com/jp/yume_pro/about/cfb.html